

---

## ◎行政報告

○議長（山本浩平君） 日程第4、行政報告を行います。

町長から行政報告の申し出がありますので、これを許可いたします。

戸田町長。

〔町長 戸田安彦君登壇〕

○町長（戸田安彦君） 平成27年白老町議会第1回定例会6月会議の再開にあたり行政報告申し上げます。はじめに6月17日に発生したバイオマス燃料化施設の火災事故についてであります。同日、午前6時半頃、成形品ヤードの換気扇より白煙が出ているのを出勤した職員が発見し、前日に製造した固形燃料に火がついていることを確認したため消防に通報いたしました。火災は、午前8時17分に鎮火しましたが、固形燃料冷却装置内部及びコンベア、排気ダクト等の一部が焼損したところであります。火災の発生原因は、固形燃料冷却装置内の残さ物が酸化反応により発火した可能性が極めて高いものと消防の現場検証により報告を受けております。また詳細な損害状況については現在調査中であります。同施設では平成25年1月にも火災事故を起こしており、再びこのような事態が発生したことに心から深くお詫び申し上げますとともに、今後は施設の安全操業を第一に考え、万全な再発防止策を講じてまいります。なおこの事故に伴い固形燃料の生産に影響が生じることが予想されますが、燃料ごみの受け入れにつきましては平常どおり行ってまいります。

次に6月6日、7日の両日、「第26回白老牛肉まつり」が白老牛銘柄推進協議会を中心に関係機関協力のもと開催されました。ことしは両日も晴天に恵まれ、来場者が過去最高の5万4,600人を記録し、提供食材も完売するなど、多くの皆様に白老牛を堪能いただきました。来場者をはじめ、関係各位には改めて感謝を申し上げますとともに、白老牛が町内外に広く認められていることを再認識したところであり、今後も白老牛を機軸として、さらなる農業振興策を図ってまいります。

次に「民族共生の象徴となる空間」の管理運営における一般財団法人アイヌ民族博物館と公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の統合に向けた協議開始についてであります。国では、かねてより両法人に対し象徴空間の一体的な管理運営の主体として、統合を視野に参画を打診してきたところ、アイヌ文化振興・研究推進機構での参画決定に引き続き、6月9日に開かれたアイヌ民族博物館理事会においても参画に向けた協議に入ることが正式に決定されたと報告があったところであります。今後、国においては象徴空間の運営に求められる基準や条件などについて検討を進め、運営主体を指定することとしているところであり、町では両法人やアイヌ協会と引き続き連携・協力しながら伝承文化の保存活用と人材育成、加えて同博物館の知見を確実にその管理運営主体に引き継ぐため尽力してまいります。

次に国際姉妹都市カナダ国ケネル市代表団の来町についてであります。ケネル市姉妹都市協会副会長、有末智子団長率いる小中学生を中心とした総勢19名の代表団が7月2日から9日までの日程で来町します。このたびの一行の訪問は平成24年以来となり、今回で通算13回目を

迎え、町内 14 件のホストファミリー宅に滞在しながら、小中学校への訪問交流や体験交流などを行う予定であります。ケネル市との交流はことしで 34 年目を迎え、これまで 1,000 人を超える交流を行っており、今後も両市町がさまざまな形で交流し続けていけるよう、姉妹都市交流の発展に努めてまいります。

なお本 6 月会議には議案 11 件、報告 2 件を提案申し上げておりますので、よろしくご審議賜りたいと存じます。

**○議長（山本浩平君）** 以上で、行政報告は終わりました。

本日から 2 日間、一般質問を予定しております。7 名の議員から 12 項目の通告が出されておりますが、一般質問される議員並びに説明員にお願いを申し上げます。一問一答方式ということ十分にご理解をいただき簡潔な質問に心がけていただきますとともに、町側の答弁についても簡潔明瞭にするよう議長から特にお願いを申し上げます。